

岡山から日本を元気にするフリーペーパー

FREE 岡山ムーブアップ vol.26
JUNE 2017

SPECIAL FRONT INTERVIEW

小林 直己 × 錦織 良成

(EXILE/三代目J Soul Brothers from EXILE TRIBE)

(映画『たたら侍』監督・脚本)

SPECIAL FEATURE
E*Gfamily

Rise!STREET INTERVIEW
Dragon76
(Live Painter)

SPECIAL COLUMN
EXILE TETSUYA

『夢の課外授業-DREAM21-』SPECIAL PHOTO REPORT

2017.5.22 @熊本県甲佐町立 乙女小学校

2017.5.23 @京都府長岡京市立 長岡第四中学校

小林 直己

山下 健二郎

(EXILE/三代目J Soul Brothers from EXILE TRIBE)

(三代目J Soul Brothers from EXILE TRIBE)

OKAYAMA MOVE UP





たたら侍

小林直己 × 錦織良成

EXILE / 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

映画『たたら侍』監督・脚本

丁寧な時代考証のもと、日本の刀文化を支えた名もなき人々の生き様を真摯に見つめた映画『たたら侍』が絶賛公開中。青柳翔演じる主人公・伍介の幼なじみで、村を守るためにひたむきに剣の腕を磨く青年・新平役で映画初出演を果たした小林直己と、監督・錦織良成が登場！

photography
Yoshifumi Nishihira

「世界に“本当の日本”を伝える。 最高の映画デビューになりました」

小林直己

Interview — 01 小林直己

— 本作『たたら侍』は小林さんにとって映画初出演作でもありますね。

「このような作品で映画デビューできることが本当にうれしかったです。実は、ずっと映画に出るのが夢だったんです」

— 映画デビューの感想は？

「最初に試写を見たときはスクリーンの中に自分があることが、とても不思議な感じがしました。映っているのが自分であって自分ではないような。今回、初めて映画の撮影現場を経験して感じたのは、映画というのは、まさに総合芸術なんだということでした。現場には、役者部や演出部、

照明部などの人がいて、全員がプロフェッショナル。そんな人たちが一丸となって良い作品を作るために全力を尽くす。例えば、良い雲を撮るために1時間待ったり。監督が“島根にはもっといい雲が出るから”とおっしゃって、イメージ通りの雲が出るまで青柳と一緒に1時間、空を眺めていました。でも、今ではここまでこだわる現場もなかなか無いと、平次郎役の豊原功補さんがおっしゃっていました。そういった意味でも、最高の現場を勉強させてもらったと思っています」

— 一般にも公開された村のセットから実

際にたたら吹きで製鉄した玉鋼、奥出雲の風景まで、本物を追求した映像が心に残ります。

「全編、フィルムで撮影しています。景色とか炎や水、雨なども、全部が実写で撮ったもの。その美しさは、CGで作った映像とはまったく違うんじゃないかと思います」
— そんな自然の中で、1時間ほど佇んでいたことがあったとか。

「1時間は立っていません…45分くらいかな(笑)。ちょうどそのときは、三代目J Soul Brothersの初めてのドームツアーが重なっていた時期で、それぞれのライブの合間を縫っての撮影という状況で、そういうときって自然が自分の中にずっと入ってくるというか。出雲の風景にすごく感動していました」

— 撮影を通して、日本の伝承文化を意識することも？

「常にありました。それまで、出雲のたたら吹きでしか生み出せない鋼があることや、それが日本刀の材料としてどれほど貴重かということも知りませんでした。職人が土の釜で三日三晩かけて生み出した鋼は、現代のコンピューターで制御された炉でも再現できないんだそうです。初めて知って驚くことも多くて、改めて日本の伝統文化の奥深さを感じました。しかも今回は海外の方々の反応からも、こういった文化はそうそうあるものではない、と気づかされました。現地でもすごく興味を持っていただいて、世界でも特殊な文化なんだと、とても誇らしい気持ちになりました」

— カナダのモントリオール世界映画祭では最優秀芸術賞を受賞。小林さんが同地で感じたことは。

「映画はすごい、と思いました。ライブとは違う良さとして、映画は世界中、僕らが行けないような場所でも作品を楽しんでもらうことができる。映画というエンターテ

インメントの可能性を実感しました。6月からはアメリカでも上映されるので、本物の日本文化を伝える本作がどう評価されるのか楽しみです」

— ひたむきに自分の目指すべき道を進み続ける新平を演じた小林さん。道の途中でつまずいたことは。

「僕自身は、いつも先輩や仲間から引っ張ってもらってきたと思っているので自分が苦労したなんて言えない(笑)。ただ、叶えたい夢を周りに話すことって大事だなと思います。応援してくれる人と会うこともあるし、口にするによって自分自身、覚悟もできる。今の僕の夢は、日本だけではなく、海外でも活動することです。パフォーマーとしても感じていましたが、映画にも言葉や文化を越えて共感し合うことができるものがある。それがEXILEのメッセージでもある“Love, Dream & Happiness”だと僕は思っています。本作を通して改めてそれを感じ、より多くの人に日本のエンターテインメントを発信するためにも、アメリカという舞台をしっかりと意識してアプローチしていきたいと思っています」

— 岡山の読者にメッセージを。

「本作は中国地方の映画でもあります。毛利氏や尼子氏といったこの地方ゆかりの一族も出てきます。ぜひ現代の自分にもつながる物語だと思って、多くの世代の皆さんに楽しんでいただければうれしいです」



「ヒーローではない、 等身大の主人公を 描きたかった」

監督・錦織良成



Interview — 02 錦織良成

— 『たたら侍』が全国で公開されました。今の感触はいかがですか。

「作品を見て、いろいろなギャップに新鮮さを感じてくれる人がけっこう多いのかなと感じています。映画を作っていると先入観との闘いが少なからずあるのですが今回は“EXILE TRIBE なら現代劇のほうが合うのでは”という先入観に加え“時代劇とは侍が刀でバツバツと敵を倒してスッキリするもの”という先入観からも、脱却していこうという思いがありました。企画が立ち上がったときからエグゼクティブプロデューサーのHIROさんとも“本物を目指そう”という話をしていました。人によっては、違和感を覚える人もいるかもしれないし、こういう時代劇が見たかったという方もいるでしょう。海外での評価はまさに後者でした」

— モントリオール世界映画祭では、どんな反応が印象的でしたか？

「小津安二郎やマキノ雅弘、黒澤映画に近いにおいがする、でもクロサワとはアプローチが逆だねと言われたことが印象に残っています。やはり、海外の映画祭は日本映画をよく研究しているなと思いました。本作では敢えて主人公の伍介をヒーローとして描いていません。侍に憧れながらも何度も選択を間違えてしまう、弱い人

間です。でもそれが私たちなんだと、モントリオールでもアメリカでも観客の方から言われました。オリジナルの作品をやるなら主人公は等身大の人間にしたかった。現代に生きる、ごく普通の人々も自分の人生になぞらえることができる物語を描きたかったんです。結果的に海外で評価して頂いたことは自信になりました。例えば、フランス映画やイタリア映画ではヒーローではない等身大の主人公を描いた作品が当たり前にありますよね。僕だって“伍介、何やってんだよ”と思います（笑）。でも人はいくつになっても悩むし間違えるもの。人間は弱い物であること、それでも家族や仲間、地域の人々とともに乗り越えてきたことに、思いをはせることも大事だと思う。モントリオールでは“これこそファミリー映画だ”と言われました。本来のファミリー映画とは、子供向けの分かりやすいものではなく、祖父母世代から孫までが一緒に見て話し合える作品のことなんです。子供たちに分からない部分があればそれを親や祖父母が教えて作品の理解を深めていく。本作も史実をきちんと織り込んでいるので現代の若い世代が知らない事柄もあると思いますが、分からなかった、で終わらずに家族に聞いてみたり歴史を調べたりしてみしてほしい。最近、うち

の息子が歴史番組にすごく興味を持つようになった。子供だから分からないだろう、というのは違う。分からないからもっとよく知ろうと思うようになるものなんだと思います。

— 2回目、3回目を見る人に注目してほしいポイントはありますか。

「本作は賛否両論というよりも、何度か見るうちに音楽のように理解が深まっていく作品かなと思っています。衣装などにもこだわっているの、細かな部分に目を向けてもらうのもいいかもしれません。劇中で登場人物がデニム生地の着物を着ているという指摘があったんですが（笑）、あれはデニムではなく緋（かすり）という日本の伝統技法の生地です。今ではかなり貴重なものになってしまったので知らない人も多いですね。日本は昔からカッコいいものをたくさん作ってきたんです。そんなことも本作を通して再発見してもらえればうれしいです」

— 岡山の読者にメッセージを。

「そもそも、たたら吹きは中国地方に伝わるものですし、本作では岡山、島根、広島、鳥取でロケをしているので、これは島根の映画でもあり岡山の映画でもあります。ぜひ家族や周りの方々と感想を話し合ってもらえればうれしいです」

映画『たたら侍』舞台挨拶 5月28日 @岡山イオンシネマ

映画『たたら侍』の舞台挨拶が5月28日、岡山イオンシネマにて開催され、新平役の小林直己と錦織良成監督が登場。観客から大きな声援で迎えられた。

映画上映前の舞台挨拶では、小林・監督ともにネタバレにならないようにと気を遣いながらも観客を盛り上げる熱いコメントを連発。「時代劇だからと構えずに、とにかく楽しんで見てほしい」と小林が言えば、監督も「EXILE TRIBEの従来のイメージとは真逆かもしれません。でも実は皆さん、大和魂というか、普段からストイックに“和”の心を持っているんです（笑）。時代劇というと刀を持った立ち回りが浮かびますが、本当の侍はめったに刀を抜きませんでした。日本人は命を伝承していくことを大事にしてきた。そんな映画をEXILE TRIBEの皆さん、そしてベテランの俳優陣とともに作ることができたのは誇りです」と出来栄に胸を張った。

上映後、感動に浸る観客から万雷の拍手で迎えられた2人。岡山のファンからの高評価に、監督も笑顔で「本作は岡山でも口ケをさせていただきました。宿場町のシーンは中世夢が原で撮影させていただいて、たくさんエキストラさんにも協

力していただきました。民間で唯一、たたら吹きに行っている新見市の備中国新見庄・たたらさんに何度も取材に伺いましたし、岡山の方々には本当にお世話になりました。たたら吹きは奥出雲のほうが多かったんですが、刀匠の名工はほとんどが岡山にいたんですね。岡山にもゆかりある映画だと思います」と明かした。小林も「実は倉敷美観地区を見て回りたいと一人旅をしたことがあるんです。坂本龍馬ゆかりの宿にも泊まりました」と明かし、会場を盛り上げた。

映画初主演ながら、どしゃぶりの中でのアクションなど過酷なシーンもこなした小林。「あのときは、隣にいる人に声がとどかないくらいの大雨で、居だけでも必死でした。監督にいい意味で追い詰めもらった」と振り返ると監督は「水を30トン用意していたんですが皆さんのおかげで10トンで済みました（笑）」とにっこり。「いろいろな立場の登場人物が出てくるので、自分だったらと照らし合わせながら見てもらえたら」と語った小林。監督も「人間は何度も過ちを繰り返してきた。ヒーローではない等身大の主人公に自分を重ねて見てもらえれば」と語った。



映画『たたら侍』

原作・脚本・監督：錦織良成 エグゼクティブ・プロデューサー：EXILE HIRO 出演：青柳翔、小林直己、田畑智子、石井杏奈、山本圭、高橋長英、甲本雅裕、宮崎美子、豊原功補、早乙女太一、AKIRA 他 / LDH PICTURES 配給 / 5月20日より新宿バルト9他、全国劇場にて公開中 <https://tatara-samurai.jp/>



©2017「たたら侍」製作委員会

PRESENT

小林直己さんから読者3名にサイン色紙をプレゼント！
応募方法 [P.26] にて。

okayama move up 検索



新生E-girlsは、一人ひとりの個性、輝きが、鮮やかに見える11人のチームに。

2011年4月から6年間の活動の中で、3度のアリーナツアー、2013年から紅白歌合戦4回連続出場など多くの活躍を魅せてきたガールズ・エンタテインメント・プロジェクト「E-girls」。6年間の活動を経て、“お互いが磨きあってダイヤモンドのように輝きたい”というコンセプトを掲げた通り、グループだけにとどまらず、ソロ・ユニット活動へも広がり魅せる中、“これからのE-girlsがもっと輝き続けるため”、“一人ひとりが夢に向けて動き出すため”にメンバー19人で話し合った結果、今までのプロジェクトである「E-girls」をアーティスト集団「E.G.family」へと進化させた。

新体制「E.G.family」には、E-girls、Dream

Ami、DANCE EARTH PARTY、Happiness、Flower、ShuuKaRen、スダンナユズユリーが所属し、これまで19人で活動してきた「E-girls」はSAYAKA、楓、藤井夏恋、YURINO、須田アンナ、鷺尾伶菜、坂東希、佐藤晴美、石井杏奈、山口乃々華、武部柚那による11人体制となり、一つのチームとしてそれぞれがエンタテインメントの特徴を明確にした組織として、メンバー一人ひとりが夢を叶える場所をメンバー自ら選び、そのエンタテインメントを追求していく。今後は、鷺尾伶菜の魂を揺さぶる歌声を軸に、藤井夏恋、武部柚那によるダブルRAPが特徴的なスリーヴォーカルと、POP感、SEXYさ、COOLさを兼ね備えた個性的なダ

ンススキルを持った8人のパフォーマーと共に11人体制となって「新生E-girls」を盛り上げていく。これまで、「E-girls」のリーダーとして活動してきたDream Ayaは、Dream、E-girlsのヴォーカル&パフォーマーを引退し、クリエイティブ業に専念する。Dream Amiは、E-girlsの先頭に立ち、Dream Amiとしても数々の夢を叶えてきた結果、ソロ・アーティストとしての活動に専念し挑戦していくことを決意した。Dream Shizukaは、DANCE EARTH PARTYという新たな大切な場所と出会い、Dream Shizukaとしての人生が本格的にスタートし、昨年のDANCE EARTH FESTIVALをきっかけに新たな一歩を踏み出

したいという思いが強くなりDANCE EARTH PARTYの活動に専念していくことを決意した。Dreamは、個々の活動に専念しそれぞれの道を歩いていくが、夢を追い続ける限り“Dream”として輝けるように、メンバーそれぞれがDreamの名前を背負って活動していく。Happinessは、7人でダンス・音楽・ファッションも誰にも真似できないHappinessへと進化するため、MIYUUはリーダーとしてHappinessに専念するとともにコレオグラファーとしてさらなる成長を目指し、ダンスの振り付けやライブの構成・演出を手掛けていく。川本璃はヴォーカリストとして表現力を高め、Happinessの音楽の幅をさらに広げて



E★G family Start !!



いくため Happiness の活動に集中する。
Flower は、6人で花の一生を感じるような心豊かな Flower のエンタテインメントを築いていくため、藤井萩花、重留真波、中島美央が Flower の活動に専念することを決意した。藤井萩花は、ダンス、ヴォーカル、演技、モデルとして限られた時間の中でもっと自身が進化していくために、Flower、ShuuKaRen、藤井萩花としての活動に集中する。重留真波は、Flowerのリーダーとして、Flower が唯一無二のグループになるために彼女たちにしかできない表現を追求して Flower としての活動に専念する。中島美央は、グループとしての表現力を上げるため、自らの夢でもあった演技に時間を費やし挑戦

するためにも Flower の活動に専念する。
7月15日・16日には、『E-girls LIVE 2017～E.G.EVOLUTION～』の開催が決定し、「新生 E-girls」をはじめ、Dream Ami、DANCE EARTH PARTY、Happiness、Flower、ShuuKaRen、スダンナユズユリーの E.G.family アーティストによるパフォーマンスを予定している。また、この2日間の LIVE が19人体制の「E-girls」での最後のパフォーマンスとなる。
『E.G.EVOLUTION』
新たな輝きを求めて、一人ひとりがさらなる進化へ。このテーマのもと動き出す「E-girls」、「E.G.family」に注目していきたい。

E.G. family NEW RELEASE

DANCE EARTH PARTY

2017.6.9 (金)
New Single 『WAVE』
配信限定 Release!!

Dream Ami

2017.7.12 (水)
New Single 『君のとなり』
Release!!

E-girls

2017.7.26 (水)
New Single 『Love☆Queen』
Release!!

スダンナユズユリー

2017.8.9 (水)
New Single 『CALL ME NOW』
Release!!

Flower

2017.8.23 (水)
New Single 『^{エレジー}たいようの哀悼歌』
Release!!

DANCE EARTH PARTY

2017.8.30 (水)
New Single Release!!
詳細は後日発表

Dream Ami

1st Album
9月 Release!!

Happiness

New Single
9月 Release!!

ShuuKaRen

2017年秋
Release!!

夢の課 DREAM 二十一世

5月22日に行われた二十世紀俱
熊本地震から1年経ちようやく元の
EXILE/三代目 J Soul Brothers from
また翌日にはメンバーの母校である
三代目 J Soul Brothers from EXILE

2017.5.22 @熊本県甲佐町立 乙女小学校

小林直己

EXILE/三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

神谷健太、与那嶺瑠唯

THE RAMPAGE from EXILE TRIBE

なりたい自分や夢があるとしたら、
その為にやってみたいことにどんどん挑戦して行って、
周りの大人に相談して助けてもらいながら夢に近づいて行って下さい！



今回の講師は、EXILE / 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE(以下：三代目 JSB) から小林直己先生、THE RAMPAGE from EXILE TRIBE から神谷健太先生、与那嶺瑠唯先生。早速授業が始まると児童にサプライズで登場、三代目 JSB の代表曲『R.Y.U.S.E.I.』のパフォーマンスを披露し児童の心をつかんだ。ダンスの授業も『R.Y.U.S.E.I.』で行われ聞いたことのあるメロディー

に楽しそうにランニングマンをする児童の姿や3人の先生と楽しく触れ合いながら踊る姿が見えた。直己先生も「子供たちがこんなにも踊れるとは思ってなかった」と驚いていた様子。30分という短い時間の中で上手に踊れた児童の姿に3人の先生は「子供たちから、逆にすごくパワーと元気をもらえた」と応えた。

ダンス授業後のお話の時間では、直己先生から「なりたい自分や夢があるとしたら、その為にやってみてほしいことにどんどん挑戦して行って、周りの大人に相談して助けてもらいながら夢に近づいて行ってください」と夢を叶えていくためのアドバイスが贈られた。

また児童から「今度学校の行事でポッキーダンスをするので教えてください」と質問があると、「じゃあ、みんなで踊りましょう!!」とポッキーダンスをみんなで踊り、盛り上がる一面もあった。閉会式では、児童からお礼の歌のプレゼントがあり、与那嶺先生から「とてもストレートに心に響き子ども達の想いが伝わってきた」と感動していた様子。

授業を受けた児童からは、「難しかったけど楽しかった」「とてもいい思い出になった」などの声があった。

最後に3人の先生から「熊本、東北、全国各地で困難に立ち向かう人たちへ夢の課外授業を続けることで、世の中にその地へ目を向けて頂けることを信じています。社会貢献として胸を張って活動することで周りの人たちと協力し、エンターテインメントを通して“未来”を皆さんに届けられるように活動を続けていきたい」と今後の活動への意欲を語った。

外授業

AM21

EXILE TRIBE 紀倶楽部

紀倶楽部が贈る『夢の課外授業』。

生活に戻った熊本の小学校へ

EXILE TRIBE の小林直己が講師として訪れた。

京都の中学校へ

EXILE TRIBE の山下健二郎がサプライズで訪問した。

自分の想いを我慢してまで生活するよりも、
色々な人に発信して、自分はこういう人間です、っていうのを伝えた方が
今後の人生の中ですごく役に立つんじゃないかなと思います。

2017.5.23 @京都府長岡京市立 長岡第四中学校

山下健二郎

三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

EXPG インストラクター



講師は、三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE(以下：三代目 JSB)から山下健二郎先生。短い時間の中で生徒同士教え合ったり積極的に EXPG インストラクターの先生に分らないところを聞きに行く姿も見られ、その姿に健二郎先生も「一体感がすごい!!」と驚きつつ笑顔で生徒たちと触れ合いながら踊っていた。

ダンス授業後のお話の時間では、後輩生徒に向けて健二郎先生から「夢を叶えるのは努力も必要だけど、まずは自分から発信して行動に移すことが大事。シャイなことは日本人の良さでもあるけど恥ずかしながら自分の人間性をどんどん伝えていって突き進んで欲しい」とアドバイスが贈られた。お話の時間の後、5月24日(水)に誕生日を迎える健二郎先生に全校生徒からサプライズで歌のプレゼントがあり健二郎先生は、「ありがとうございます!とても嬉しいです!!」と感謝の気持ちを伝えた。最後に健二郎先生は「今日踊れなかったという人も、楽しい気持ちになったり何か感じたことがみなさんの今後に繋がっていくと嬉しいです」とメッセージを贈ると、全校生徒が花道を作り笑顔で健二郎先生を見送った。



山下健二郎さんから
読者の皆様へメッセージ

岡山はまた行きたいですね! 前回はまた行かせてもらった時は4年前だったんですけど、すごく盛り上がったのを覚えていますね。前回は観光ができなかったので、次岡山に行く機会があれば観光もしたいですね。

Rise!

OKAYAMA MOVE UP 2017

「日本はもっと元気になる! 岡山はもっと元気になる!」

OKAYAMA MOVE UPは更なる活動の浸透と広がりを実現するために、より具体的かつ大胆に様々なジャンルの“Rise!～上昇～”をバックアップしていきます。Rise!の先には必ず人間の生きる意味、生まれてきた意味が見えてくると確信しております。

Rise!

OKAYAMA MOVE UP **STREET**

ダンス・BMXなど様々なストリートカルチャーを横断的に融合させ岡山のストリートカルチャーをより盛り上げます。

Rise!

OKAYAMA MOVE UP **ATHLETE**

野球・サッカーなど様々なスポーツに携わる岡山にゆかりある人々をピックアップし、取り上げていきます。

Rise!

OKAYAMA MOVE UP **AIRTIST**

音楽・文化・美容など様々な業界で活躍する人々をピックアップし、考え方、生き方などを発信していきます。

Rise!

OKAYAMA MOVE UP **NEXTER**

岡山中、もしくは岡山を拠点として活躍する企業や企業人にスポットを当て、認知を広げていきます。

Rise! SPECIAL INTERVIEW Vol.3

01 interview **STREET**



Live painter
Doragon76



ストリートを拠点に彼が展開するイラストは世界を魅了する。彼のこれまでの経験はもちろん、誰も想像できない彼の思考やこれからクリエイティブな世界を目指す今の若者へのメッセージなどインタビューを行った。また4月15日、16日にフェアレーン岡山特設会場で行われたストリートエンターテインメントイベント『Rise! STREET LIVE』の様子もレポートする。

02 interview **STREET**

EXPG 大阪校 **庄司 春菜**



岡山の高校に通いながら、ダンススクール『EXILE PROFESSIONAL GYM (EXPG)』に通う庄司春菜。ダンサーになる夢を追う彼女の想いなどポジティブな話をインタビュー。

03 interview **NEXTER**

Montare **片山 卓也**



岡山問屋町に4月にオープンしたカジュアルイタリアン『Montare(モンターレ)』オープン後すぐに若者の注目の場所となったモンターレの店長、片山卓也にインタビュー。

04 interview **NEXTER**

ALARA CURRY **大橋 啓太郎**



岡山磨屋町に4月にオープンした変わった名前の『ALARA CURRY アラカリー』。お米の炊き方にもこだわったオリジナルカレーなど、その想いをインタビューのBAZ-Kが聞いた。



OKAYAMA MOVE UP! the4th ANNIVERSARY
 Rise! STREET LIVE

EVENT REPORT

Live Paint Dragon76	BBOY(BREAKDANCE) KATSU1	BBOY(BREAKDANCE) KOSIO RAWMAN	Freestyle football TOKURA	Aggressive inline skating 金島総一郎	BMX 谷川慶介
------------------------	----------------------------	----------------------------------	------------------------------	------------------------------------	-------------

世界を魅了するストリートカルチャーが岡山に集結!!

4月15日(土)、16日(日)フェアレーン岡山特設会場にてOKAYAMA MOVE UP! the4th ANNIVERSARY スペシャルイベント《Rise! STREET LIVE》が開催された。1日目は中四国地区では初開催となるブレイクダンスドリームチャレンジのイベントを始め、世界を魅了するペインターのDragon76によるライブペイントが行われた。イベント終盤にはフリースタイルフットボールのTOKURA、ブレイクダンサーのKATSU1、KOSIO RAWMAN、アグレッシブインラインスケーターの金島総一郎、BMXライダーの谷川慶介によるスペシャルストリートライブが行われ、会場にいる約150人は世界の技に釘付けとなった。また2日目にはKATSU1、KOSIO RAWMANによるダンス教室、TOKURAによるリフティング教室も行われ、参加した小中学生約200人と触れ合った。



photography : 宗村 和磨 (NEMURA FILMS)



01
interview

Rise!
OKAYAMA MOVE UP STREET

たくさん行動に移している人々に
会うことで、チャンスは広がる。

DRAG

photography: 宗村 和磨(NEMURA FILMS)

Profile

DRAGON76 (ドラゴン76)

1976年滋賀県生まれ。ストリートアートを基本とし情熱的で生命力溢れるタッチで見る者の魂に触れるような作品を描く。そのスタイルは常に進化し、過去と未来や、静と動、正義と悪など、相反するものの共存をテーマに作品を生み出している。また、即興で繰り広げられるダイナミックなライブペインティングは世界中からのオファーも絶えず多くの観客を魅了する。2015年に日本で開催された世界的なストリートアートフェス POW! WOW! JAPAN への参加をきっかけに、翌2016年にも POW! WOW! TAIWAN, POW! WOW! LONG BEACH にも参加し、世界中のストリートアートシーンに名が広まる。2016年からは拠点をニューヨークに移し活動中。

ニューヨークで活躍する、日本人アートペインター「DRAGON76」。彼がこれまで歩んで来た軌跡や、将来思い描いている未来像。またDANCE EARTH PARTYのジャケットデザインに込めた思いなど、貴重な話をインタビュー。



——現在の Dragon76 さんに至るまでの人生の経緯を教えてください。

Dragon76 (以下、D) : 小さい頃から絵を描くことが好きで、絵を描き始めた時に描いていたのは漫画の模写とかを書いてたんですけど、そこから自分なりにストーリーをつけて新しい漫画を描くようになって、キャラクターを自分で作ってみたり、小学校の時は『ロードショー』という映画の雑誌があったんですけど、その雑誌を見ながら気に入った

LIVE PAINTER DRAGON 76

校ですごく仲良くなった仲間がスプレーをやっていたので海外のグラフィティとかに興味を持ち始めて、スプレーでライブペインティングをしたり、シャッターに絵を書いていた時期もありました。絵を仕事にしようと思ったきっかけとかは明確にここ!っていうのがないんですけど、やっていくうちに周りの人よりもかっこよく書けるという自信がついてきて、若い時は自分のことを“超天才”だと思っていたくらい変な自信がありましたね(笑)でも、この自信があるなら誰よりも上手になりたいし誰よりも目立ちたいと思うようになって、それがだんだん仕事になっていって仕事として頼まれることで次はもっとこうしていきたい、もっといい仕事をしたと思うようになりましたね。だから挫折とかもなく、絵を書くことが本当に楽しいので、今は絵を書いて一生生きていけたら本当に幸せだなと思っています。



――ライブペインティングで失敗してしまったことはあるんでしょうか?

D:ライブペインティングに関してはいっぱいありますね。失敗というか、後々あれはなかったかなと思うことはあります。絵のイメージを決めて描く時もあるんですけど、今回は寅彦さんやVERTICEさんと一緒にやらせていただいたので、絵のイメージリクエストがあったんですけど、普段は自分の100%の表現でその日に思いついたものをその時に書くスタイルでやっていますね。偶然できた線がすごく良かったとかもあるので事前に考えたりはせずに即興でその時に思いついたものを出し切ろうと思っていて、頭に浮かんだものは一応全部やりたいと思ってやっています。でも、やったことが後々効果的じゃなかったとか頭ではもっとこうなるんじゃないかなと思っていた効果が全然出ていなかったりすることはよくありますね。途中までは良かったのにあれをしなかったらもっと完成度を上げられたのになと思うこともあります。

――失敗の反対に、完璧な完成形ができたという気持ちになることはありますか?

D:自分の中では100点のものはないと思っていますんですけど、でもこれだけたくさんの絵を描いているのに100点のものがないってなると、100点の設定が間違っているのかなと思うこともありますね(笑)でも、ライブペインティングでは100点に限りなく近いものはあります。偶然の力とかも必要で自分だけの力をコントロールして100点にもっていくのは無理だと思っています。描きながら1個やったものに対してリアクションとして何か新しいことをして、またそこから新しいリアクションとしてやって、というものが繋がっていった時に、最初にやったものと一番最後にやったものが偶然すごい意味が繋がった時とかは自分ですごく感動します。自分一人の力では、描けることに限界があ

ると思うんですけど、やっぱりいつも誰かの力やご縁でみんなの力が合わさって完成するものなんだと思います。

――ライブペインティングをされている時は何を考えて描かれているんでしょうか?

D:結構色々考えていて、もちろん絵のことはずっと考えているんですけど、ライブペインティングだったら時間の流れとともに会場が盛り上がってくる感じや、リラックスする時間を感じながら今この時間にこんなことをしたら目立つかなっていうのをコントロールしながら描いています。

――作風やテイストが進化されていますが、何かに影響されることはあるんでしょうか?

D:ずっと同じことをやり続けることは自分の中で飽きてしまうんですね。自分の人生も同じなんですけど、何か新しい環境で新しいことにチャレンジすることが好きで、常に新しいことをしたいと思っています。せっかくだから新しいスタイルができて、次はそれを追求した上で、それを壊してまた新しいスタイルに繋がるとか、あるものを壊して新しいものを作っていくというバランスが自分としては楽しい作業ですね。自分の中では“破壊と再生と共存”というのが大きいテーマになっています。

――何かこれをしておいたら絵のスキルが上達するということがあれば教えてください。



D:スキルの面では、まずはセンスを磨くことが一番大切だと思います。あとは、良い絵をたくさん見ることですね。今はSNSとかで検索しても、世界中のいいアートが見れるのでたくさん検索して良い絵を見ることも大切ですね。でも、一番はそのネット上で見つけた絵を実際に自分の目で見に行くことがすごく大事で、まずはたくさん良い絵を見て、それをインプットして自分のセンスを高めることが大切だと思いますね。

――OKAYAMA MOVE UP 読者の皆さんの中にはLDHファンの方も多いのですが、Dragon76さんをご存知の方も多いと思うのですが、DANCE EARTH PARTYの絵を描くことになった経緯を教えてください。

D:きっかけになったのは、共通の知り合いの紹介でUSA君と知り合ったのがきっかけで、話していたら歳も同じでお互いがやっていることにもすごく共感できて意気投合した感じですね。そこから、USA君が千葉でやっている『DANCE EARTH VILLAGE』に招待してくれて、結構すぐ絵を描きに行っただんですけど、村にあるものは全部手作りで、自然の中にひとつの村があってすごく良い場所だったので、絵を描きながら何泊かしてみんなでバーベキューをしたりしてたんですけど、そ

こから何度か絵を描きに行くうちに、USA君からも何か新しいプロジェクトを始めようと思ってるっていう話があって、それで出来たのが『DANCE EARTH PARTY』(以下、DEP)だったんです。そこからCDジャケットの絵も依頼されるようになりました。初めてDEPのジャケットを描かせてもらった時は、USA君とはそんなに密な打ち合わせはしてなくて、USA君が好きなテイストだったり、お互いがどんな感じが好きかっていう共有もできていたので、最初にこんな感じでいきまですってUSA君に伝えて描いていったという感じですね。前回のNEO ZIPANGなんかは制作期間で行くと10日間ぐらいかかりました。

――Dragon76さん自身の未来だったり、子どもたちに向けて、将来こうあればいいなと思うことを教えてください。

D:自分の娘と息子がブレイクダンスをやっているんですけど、キッズダンサーのバトルとかをよく見る機会があって、その時に今の子どもたちって昔に比べて自分を表現するのにあまり躊躇しないっていう子がすごく増えてきているなと感じることが多くて、そういう人目とかを気にしなくてもいいような世の中だったり環境がもっと発展していけばいいなと思います。

――夢を目指している人にアドバイスがあれば教えてください。

D:自分自身も夢は何かと言われたらすぐに答えられない部分があるんですけど、若い時は将来海外に住んで海外で成功することが夢だったんです。やっぱり頭で考えられることは段階を踏めば絶対に実現できることが多いんです。海外も行くと思えば行き方もたくさんあるし、まずは身近な目標を一個ずつクリアしていくことが大切だと思いますね。そのためにたくさん行動に移して、いろんな人に会うことでチャンスが広がると思うし、人に迷惑がかかるようなやり方はだめですけど、人にどう思われるかで自分にプレーキをかけて動くこともしないようにしています。



2017.4.15 sat
THEME: 虎、侍

2017.4.16 sun
THEME: 上昇、女性

4月15日16日の二日間、フェアレーン岡山にてドラゴン76さんによるライブペイントを実施しました。普段見る事のできない真っ白なキャンパスからの下書きなしのライブペイントにお客さんも興味津々!隣で行われていたストリートパフォーマンスとともに会場は大いに盛り上がりました。



映画のシーンや俳優さんを模写したりデッサンしたりしていました。最初に絵に興味を持ったから興味を失うことなくずっと絵を描いていたので、将来は絵でやっていこうとかは思わずに、趣味として続けていこうと思って描いていました。中学・高校時代はスケボーだったり音楽だったり、ストリートカルチャーに興味を持っていたので自然と絵もそういったストリートテイストの絵になっていって、スケートブランドのデザインを自分で考えて作っていました。高校卒業後は、大阪美術専門学校

——ダンスをはじめたきっかけを教えてください。

庄司春菜（以下、春）：友達がずっとダンスをしていたんですけど、小学校3年生の時に、その友達のお姉ちゃんがダンスの先生を始めたのでそのレッスンに参加したのがきっかけです。

——現在は大阪のダンススクール『EXILE PROFESSIONAL GYM』（以下、EXPG）まで通っているということなのですが、どういった経緯でEXPGに入ったんでしょうか？

春：中学3年生の時に初めてEXILEさんのLIVEに行ったんですけど、その時にバックダンサーで踊っている人たちを見て、私もあのステージに立ちたいなと思うようになったのがきっかけで、バックダンサーはEXPGから出ているという話を聞いてから、ただのファンじゃなくて私も一緒に踊れるようになりたいと強く思い、EXPGに入りたいと思うようになりました。実際にEXPGに通い始めたのは高校1年生からで、中学3年生の時にEXPGの新人発掘

ションを受けました。一次審査は通って、二次審査で落ちてしまったのですが、落ちてしまったことでもっとEXPGに入りたいという思いが強くなり、EXPGに入校しました。

——普段はどんなレッスンをされているんでしょうか？

春：特定のジャンルが決められていないので、色々なジャンルのレッスンを受けています。HIPHOP（ヒップホップ）もするし、JAZZ（ジャズ）もするしREGGAE（レゲエ）もするっていう感じで、レッスンに行くたびにジャンルも違うし先生も違うので本当に色々なレッスンを受けることができます。

——EXPGに一年間通ってみて、思うことはありますか？

春：岡山でダンスをやっていた時は、自分の中でただダンスを楽しむっていうだけだったんですけど、大阪に行ってからみんな競争心があるけど仲が良くって、良い関係が保たれているなど感じます。

誰かに夢を与えられる人になりたい!!

Haruna Shouji 庄司 春菜

ひたむきに夢を追い続ける現役女子高生。
ダンスと出会って自分の人生が変わったという彼女。
彼女の将来の夢と今後の展望とは。



——ダンスを通じて学んだことはありますか？

春：私自身が以前は人見知りだったんですけど、ダンスをはじめてから色々な人と関わることが増え、新しい友達を作る時もダンスをやっていることで話しかけやすくなったし、ダンスをやっているとダンスのノリがあるのでそのノリで友達になれたりします。ダンスをやっていることで人見知りな自分を少し克服できているのかなと思います。

——ダンスの魅力はどんなところだと思いますか？

春：昔は周りの人がやっていなかったからいいなと思っていたんですけど、今はダンスが自分を表現できることの一つだと思っていますし、私が目立ちたがり屋なのでダンスをしていたら目立つかなっていうのもあります（笑）

——思返したい人はいますか？

春：両親です。特にお母さんは、大阪までの送り迎えだったりお金の面でもお世話になっているので、ダンスで何か成果を残して、いつか私の夢が叶って何かしらの形で思返したいです。

——憧れの人はいますか？

春：憧れている人は、私に最初にダンスを教えてくれた先生と三代目の ELLY さん、E-girls の YURINO さんです。ダンスの先生は、ダンスを見たのも先生が初めてだったし、私がダンスをはじめたきっかけも先生だったので、尊敬できる存在です。



ダンスは、私を表現できる言葉のような存在!

先生の見た目も性格も全部が大好きなので私の中でのダンスの全部が先生ですね。ELLYさんは、私が初めて行ったLIVEの時に知った方だったんですけど、単純にダンスがすごいなと思って、LIVE中もずっと目で追っていました。それから家に帰って ELLY さんのことを調べて知ってから憧れの存在です。YURINOさんは、可愛いし、小さいのにダンスもすごく上手だし、私には無いものをたくさん持っていて見た目もダンスも大好きです。

——大きな夢を持ち始めたのはいつだったんでしょうか？

春：やっぱり中学3年生で行ったLIVEの影響が大きいですね。中学3年生まではただダンスが楽しいから続けていたんですけど、LIVEが終わってからバックダンサーになりたいって思ったのが一番最初の夢で、そこからどんどん新しい夢を見つけて、最終的にたどりついたのが“E-girlsになりたい!!”という夢でした。

——夢を持ってからと持つ前では何か変わったことはありますか？

春：原動力がダンスに変わりましたね。

今でいうと、バイトを始めたのもダンスを続けたいからバイトをしていて、何をやるにもダンスに繋げる自分があるので、ダンスが自分の生活の一部になっています。

——今後の夢を教えてください。

春：一番の夢は、E-girls に入ることです。でも、その前に色々なことを経験したいと思っていて、LIVEのバックダンサーもしたいですし、一番近くでいうと夏にある EX SHOW を頑張りたいです。もし E-girls になれなくても、ずっとダンスは続けてダンスで食べていけたら一番だなと思っています。ダンスを続けていく上でダンスを教えたり、振付を考えたりっていうのももちろん大事だと思うんですけど、やっぱり私は自分が誰かに夢を与えられる人になりたいって、私もそういう人たちから夢を与えてもらったので私もその立場になりたいって強く思います。



Profile

庄司 春菜（岡山県出身）
平成12年5月30日生 17歳
岡山市立後楽館高等学校在学

小学3年生の頃にダンスと出会い、現在は大阪のダンススクール EXILE PROFESSIONAL GYM（EXPG）大阪校へ週2回通いながら日々ダンスの練習に励んでいる。

今年4月に問屋町にOPENしたイタリアンレストラン『モンターレ』。同世代の仲間と共にお客様に愛されるお店を目指し、ここから出発をきる第一号店を紹介。

BEEF×ITALIAN

Montare

――飲食店をはじめたきっかけを教えてください。

片山卓也(以下、片):19歳の頃、友人に料理を振舞ったときに“美味しい”と言ってもらい、その時に自分の料理で誰かが笑顔になって美味しいと言ってくれたことに喜びを感じたのをきっかけに料理人を目指すようになりました。最初の職場がイタリアンのお店だったんですけど、その後居酒屋に就職して経験を積んでいくうちに独立してやりたいという気持ちが芽生え始めました。そんな時に、今回のお店を出店するお話を頂いて、一緒にやってくれる仲間と出会うことができ、お店を始めることができました。また、イタリアンというジャンルを選択したのは、全員で話し合った結果、女性が好きそうなジャンルとしてイタリアンがあがり、集まってくれた仲間もホテルのフレンチ出身のシェフやイタリアンのお店で修行していたシェフということもありイタリアンに決まりました。

――問屋町という場所を選んだ理由はなんだったんでしょうか?

片:お店の場所を選ぶうえで、“その地域の人に愛され、地場の潜在顧客の獲得”ということを目指していて、イタリアンということもあり、女性・OLをターゲットにして場所を絞り岡山駅前をメインに探していました。そこから、問屋町にも目を向けて探していたところ、条件に合ういい物件に出会うことができ、問屋町という場所で行ってこうと決めました。

――店名である『Montare(モンターレ)』の由来を教えてください。

片:『Montare』はイタリア語で“のぼる”、“出発する”という意味があります。僕たちは、スタッフの平均年齢も20代半ばとまだまだ若手なので、多くの人から勉強させてもらい、経験させて頂きながら知識を吸収し、上を目指して成長していくぞ!という社内の士気をあげるため、そして記念すべき一店舗目になるお店なのでここから出発するんだという意味を込めてスタッフと話し合い『Montare』になりました。

――お店のコンセプトはなんですか?

片:コンセプトはカジュアルイタリアン、店内は白を基調とした明るめな内装にしている、高級感を出しすぎず、どなたにも入りやすいお店にしたいという思いで作りました。



Most Loved Company!!

お客様に愛されるお店に!

モンターレ 店長
片山卓也
Takuya Katayama

photography:宗村 和磨(NEMURA FILMS)

――『Montare』として一番心がけていることはなんですか?

片:一番心がけているのは、接客です。あいさつなど、人として当たり前のことが普段から出来るように社員教育していますね。お客様から“ご飯は美味しいけど接客がダメだね”という指摘が起こらないようにしたいという思いが強くあって、“この人たちがいるからまた来たいな”と思っていただけるような店にしたいです。

――『Montare』のこだわりはなんですか?

片:食材と価格帯にこだわっていて、食材では、パスタに生パスタを使用しているのですが、イタリアの地中海の気候が一番近いといわれている日本の淡路島で作られた生パスタを使用し、ピッツァ生地発酵には天然酵母を使用しています。その他の食材も全国からこだわったものを調達して、季節ごとの限定メニューを提供しています。6月は、パスタにアワビ、お肉料理にフォアグラなど高級食材を使用しながらも、価格はリーズナブルに提供できるように心掛けていて、ランチは平均1000円から、ディナーは平均2500円から提供させていただいています。

――今後の『Montare』をどんなお店にしていきたいですか?

片:“Most loved company!!”お客様に愛されるお店になろうというテーマを掲げていて、料理もそうですし、人としてもお客様に愛されるお店になりたいと思っています。あとは、今後の店舗展開もスピード感を持ってしていきたいと考えています。実は、2号店の計画も1号店を始める前から視野に入れていたので、2店舗、3店舗とリズムよく出店していきたいと思っています。



Profile

BEEF×ITALIAN Montare
店長 片山卓也(Takuya Katayama)

岡山県出身 平成3年12月15日生

調理師の資格を取得しイタリアン・創作居酒屋と経験を積み、2017年春からMontare店長を務める。



Montare イチオシメニュー

オマール海老のパスタ(一尾分)

限定メニューになるのですが、『オマール海老のパスタ』です。オマール海老も大きいサイズのものを使用していて、見た目のボリュームはもちろん、生パスタもコシがありもちもちしているので女性にも人気です。5月いっぱいまでの限定メニューの予定だったのですが、反響が良かったので6月も延長してご提供させていただきます。

INFORMATION



BEEF×ITALIAN
Montare — モンターレ

【営業時間】11:00~23:00
【定休日】火曜日
【住所】岡山市北区問屋町11-105
【連絡先】086-236-6123



BAZ-K (以下、B) : 4月にオープンしたばかりの ALARA CURRY さんなんですが、お店の場所を磨屋町に決めた理由は何なんでしょうか？

大橋 啓太郎 (以下、大) : 本当はたまたま…ですね。(笑)当初は、牛窓にお店をオープンしたいと思っていたんですけど、いろいろな事情で牛窓での出店計画はなくなってしまったんです。そんなときに僕の師匠から“牛窓は逃げないから”と言われて、確かにそうだなと思い、まずこの磨屋町でお店を開くことを決めました。なので、本当にこの場所にお店を開いたのは、たまたまなんです。(笑)ただ、今後で縁があったら牛窓にもお店を出したいとは思っています。

B : そもそも、なぜカレー屋さんをやると思ったんでしょうか？

大 : 感覚というか、本当に気まぐれなんですけど、もともと僕がカレー好きということもありますし、単にこれまでカレーというジャンルで飲食をやったことがなかったということが、大きな理由ですね。ただ、自分でお店を開くと決めたときから、一人でお店をやるなら専門店にしようというのは決めていたんです。そこからメニュー数を絞っていろいろ考えたところ、たまたまカレーにたどり着いたという感じです。あとは、カレーは仕込みが楽だろうという考えも、カレーに決めた理由にあったんですが、意外と仕込みが大変で、今は仕込みに追われています。(笑)

B : 今までずっと夕方から夜遅くまで営業している飲食店をされてきた大橋さんですが、お昼営業の飲食店に変わって、大橋さんご自身で何か変わったと感じることはあったんでしょうか？

大 : やっぱり家族と過ごす時間が増えました。子どもが小学校に上がったんですけど、これまで夜遅い仕事をしてきた分、あまり子どもと遊ぶ時間が作れていなかったため、子どもと遊ぶ時間を作るためにお昼メインで営業することも決め、今回のお店を開いたんです。子どもって見るだけでも、“どんなことをするかな”とか“どんなことを言うかな”って見ていてすごく面白いんです。なので、自分自身も子どもから楽しませてもらっている所もあるので、この感性が豊かな時期にもっと子どもと遊ぶ時間を大切にしようと思っています。

人ってちょっとずつ変わっていくもの。そのときに自分が思ったことで一番良いものを提供したい。



04 Rise!
interview OKAYAMA MOVE UP NEXTER

4月に磨屋町へオープンしたカレー屋さん『ALARA CURRY』。大橋オーナーのカレー屋専門店のこだわりとは。

ALARA CURRY



Guest Profile

大橋 啓太郎 Keitaro Ohashi (写真右)
ALARA CURRY オーナー
岡山県出身 1980年2月25日生

Interviewer: BAZ-K (写真左)
株式会社バズクリエイション代表取締役

ALARA CURRYさんの“この”空気感はお店でリアルに感じて欲しいですね。

B : 『ALARA CURRY』の店名の由来は何だったんでしょうか？

大 : 僕の子どもが、お寺の幼稚園に通っていたんですけど、去年の年末ぐらいにお釈迦様が悟りを開いた日というのがある、その事について調べていたら、仏陀が最初に行った修業先が“阿羅羅(あらら) 仙人”という人のところだったらいいんです。単純に響きが面白いなと思って“阿羅羅仙人”の“あらら”をとって『ALARA CURRY』にしました。

B : 店名のルーツもお子さんにあったんですね。そんな『ALARA CURRY』のこだわりを教えてください。

大 : こだわりっていうのは特にないんですけど、もともと僕がお酒をよく飲むので、ビールと一緒にカレーを食べてもらえると嬉しいです。お酒が飲める方には是非おつまみがてらビールとカレーを食べてもらいたいですね。また、僕自身お米が好き

なのでカレーをはじめたということもあって、お米の炊き方には少し凝っています。B : ちなみにどんな炊き方をされているんでしょうか？

大 : 昆布茶や、ギーという不純物を全て取り除いたバター、あとは焦がしニンニクを入れ炊き込んでいます。ガーリックライスのようなイメージですね。

B : そういったレシピの発想はどこから生まれるんでしょうか？

大 : 色々な飲食店の方のやり方を見たり、カレーの本を参考にしたりして、自分が美味しいと思えるもの試行錯誤しながら作っています。

B : なるほど。今後、『ALARA CURRY』のメニューや味が変わっていくことはあるんでしょうか？

大 : そうですね。変わる可能性もあるし、変わらない可能性もあります。やっぱり人ってちょっとずつ変わっていくものだと思うので、そのときに自分が思ったことで一番良いものを提供したいと思っています。なので逆に、これってカレーへのこだわりがないんですね。

B : 常に進化していくし、足し算や引き算をしながら日々やっていかれるということなんですね。

大 : そうですね。僕は、現状維持ができればそれでいいかなと思っています。どこにでもあるお店じゃなくて、個性があるお店をやってあげたいなと思います。今そんな中で僕が一番で欲しいのが男の子なんです。僕も昔、バイト代が出たら少し背伸びをして千円以上するカツカレーを好きな女の子とかと食べに行ったりしていたので、『ALARA CURRY』もそんな場所になってくれたらいいなと思っています。ここで説明するよりも、実際にお店に来てもらって、お店の空気だったり、そこで流れる時間だったり、リアルに肌で感じて欲しいです。

ALARA CURRY INFORMATION

営業時間 : AM11:00~
店休日 : 月曜日
住所 : 岡山市北区磨屋町 1-17



vol.17

Special Interview Column

DREAM ARTIST

岡山生まれのシンガーソングライター 玉川洋輔が聞く!

—— みなさん、こんにちは。
まず1人ずつ自己紹介をお願いします!

Kairi: レッドを担当している、Kairi です。
Yuria: グリーン担当、Yurina です。
Miyuu: イエロー担当、Miyuu です。
Hinata: ムラサキ担当、Hinata です。

—— みなさん若いんですね!まだ高校生なん
ですね。それではまず、アイドルになろうと
思ったキッカケを教えてください。

Kairi: 私は、お父さん方のお母さんが、事
務所の方とお友達でそこからがスタート
で、オーディションを受けさせていただきま
した。

Yurina: 私は、親子情報誌 HUGHUG とし
うフリーペーパーがあってそのフリーペ
ーパーを学校の友達が見ていて、友達に「ア
イドルをやってみたら?」とすすめられ、オー
ディションを受けました!

Miyuu: 私は元々アイドルになりたくて、た
またま行ったお祭りで HUGPRO の「ハート
アップガールズ」というグループが歌って
いて、当時の「ハートアップガールズ」に
Kairi ちゃんがいる、Kairi ちゃんに憧れて
HUGPRO に入りたいと思い、オーディション
を受けました!

—— 憧れて入って、現在は同じメンバー
で凄いですね!

Miyuu: 同じメンバーになれてとても嬉し
かったです。大興奮でした (笑)

Hinata: 私は最初、モデルになりたかった
んです。アイドルは見るのが好きで、やりた
いとは思ってなかったです。そんな時
に、HUGPRO の大きいイベントのポスター
にファッションショーに出たい子募集の中
の広告が出ていて、お母さんに「これに出
てみたら?」と言われたので応募しました。後
日、電話がかかってきて「アイドルになっ
てみませんか?」って言われアイドルになりま
した!

—— みなさんアイドルになった理由はバラ
バラなんですね!つい先日、「体あたり乙女
CHARM」に改名し、初の LIVE も終えた
ということで、改名後に4人になって LIVE した
感想を教えてください。

Kairi: 新鮮でしたが、不安がすごく多か
ったです。何ヶ月も LIVE してなかったんで
体力がとても落ちていて。

Miyuu: そう!レッスンをしている時も衰
えた感じがとてもありました。マネージャーに
も、「もっと動かないとダメでしょ!」って現
実を叩きつけられました (笑)

—— 僕はいつもソロなので、もちろんグ
ループ、人数が多いとなると、歌やダンスを
合わせるのも大変だと思います。LIVE 中
に気をつけていることはありますか?

Yurina: ダンスで大きく移動する時などに
マイクが当たりそうになる事もあるので、そ
ういうミスをしないように気をつけていま
す。

Kairi: マイクは絶対落とさないように気
をつけています (笑)

—— アイドル活動以外で頑張っていること
はありますか?

全: みんな勉強を頑張っています!

—— これから新体制になり、沢山の LIVE
やイベントで県外に行ったりすると思いま
すが、「体あたり乙女 CHARM」としてこれか
ら夢を叶えていく上で到達点とか決めていま
すか?どこで LIVE してみたいですか?

Kairi: まだ到達点は決めていません。
LIVE してみたいところは東京ですね!絶対
(笑)

Hinata: 全国ツアーをしてみたいです!夏
休みを使って1日ずつ違う県に行ってみた
いです。

Miyuu: そう!4-7都道府県、全部行って
みたいです!

—— 目標は全国ツアーですね!では、最
後にみなさんにとってアイドルとはなん
ですか?

Yurina: 生き甲斐です。こんなにかっこ
いい言い方合わないですけど (笑) アイドル
という活動がないと自分らしくないです。

Miyuu: 生活の一部ですね!今はたくさん
のアイドルグループがあるので本当にア
イドル戦国時代です (笑)

—— みなさん全国ツアーを目指して頑張
ってくださいね!ありがとうございました。



Profile

岡山と大阪を拠点に活動している、アイドルグループ『体あたり乙女 CHARM』

2014年3月 CHARM 結成

2014年5月 1st シングル MY WAY リリース

2015年6月 2nd シングル Some day 全国リリース

2016年2月 1st ミニアルバム CHARM のうた リリース

2016年8月 3度目のワンマンライブを大阪で成功させる

2016年11月 受験のため活動休止

2017年4月 体あたり乙女 CHARMとして活動再開



アイドル活動が
生き甲斐

岡山のアイドルグループ

体あたり乙女 CHARM

HUGPRO エンターテインメント所属

インタビュー: 玉川洋輔



1st シングル「雨」発売中!
一度と繋がれない君を想い続ける
もう叶わないとわかっていても
夢も切ない極上のバラードソング。
【価格】3曲入り ¥1000 (税込)

Ameba: <http://ameblo.jp/0912yosuke1225/>
facebook・Twitter・Instagram: 玉川洋輔で検索

場所: 倉敷 REDBOX
撮影: Ryo Oonishi

Dream Comes True!!



HUG PRO

アーティスト 大募集!!

HUGPROとは— (株)HUGHUGが運営する岡山のタレント事務所
全国的なアーティストとの共演やオリコンチャートランクイン実績のある
アイドルやアーティストが数多く所属しています。

あなたも岡山にいながら夢のステージに立ってみませんか?

学生が

活動内容



中学生が大人になることを
楽しみだとおもえるような
空間を作りたい。

NPO法人
だっぴ

中学生だっぴ 大学生キャスト
糸川 はる奈



NPO法人～だっぴ～



『だっぴ』の活動の中で、私は『中学生だっぴ』という活動をしています。中学生が学校の中にいるだけでは出会えないような色々な世代・職業の人と出会う場を作って、その中でそれぞれの考え方や価値観を共有しあい、色々な生き方に触れる場を作っています。岡山県内の中学校を対象にしていて、8人のグループになって中学生と大人の方が安心して話せるようにサポートするのが私たち大学生キャストの役割です。

岡山を

活動内容



僕たち学生が、
子どもたちと地域の方の
繋がりのひとつになりたい。

子ども支援サークル
にっこにこ

にっこにこ 代表
森宗 正義



『にっこにこ』は、川崎福祉大学の学生約35名で活動しているサークルです。様々な理由で夜を一人で過ごしている子どもたち(小学生～中学生)を対象に倉敷のトワイライトホームを拠点として子どもたちの居場所づくりをしています。具体的には、放課後子どもたちを迎えに行き一緒に遊んだり、晩ご飯と一緒に食べたりしながら一緒に過ごして、21時頃に子どもたちを家に送って帰るというスケジュールで活動しています。

元気に

活動内容



誰かのために、何かをする
素晴らしさをたくさんの人に
伝えていきたい。

NPO法人
チャリティー
サンタ

チャリティーサンタ 岡山支部
中村 裕介



NPO法人チャリティーサンタ
Charity Santa



『チャリティーサンタ』の活動には大きな柱が二つあり、メインの活動は、12月24日に依頼を受けたご家庭から事前に預かったプレゼントを、サンタクロースに扮したスタッフがサンタの気持ちになって子どもたちにプレゼントを届けに行くという活動をしています。もう一つは、クリスマスにご家庭からいただいたチャリティー(寄付金)を使ってネパールの子どもたちの支援や、福島にいる放射能の影響で外遊びが難しくなってしまった子どもたちを岡山に呼んで、岡山の自然にふれあいながら遊んで生きる力を養う活動を行っています。

『だっぴ』のメンバーから一言

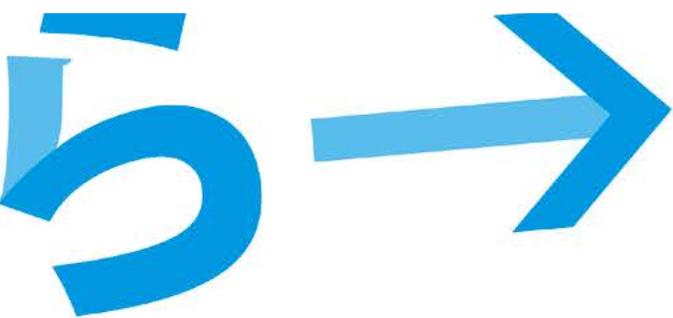
岡山を元気にするために、岡山に住んでいる方が元気にならないといけないと考えています。『中学生だっぴ』では、地域の方と同じ空間で話をするということだけで、お互い良い刺激をもらえます。また、『だっぴ50×50』という大学生や高校生、新社会人などの若者を対象に岡山の企業の方と話す場を作る活動もしています。そういった、『だっぴ』から一人でも多くの人がその空間で話をしてお互いに良い刺激を得ることができたら嬉しいですね。



岡山理科大学 4回生
雨森 宥人(高知県出身)

『にっこにこ』のメンバーから一言

『にっこにこ』の活動の魅力の一つに、人との繋がりがかかっています。地域のお年寄りの方とトワイライトホームに来てくれたにっこにこを通じて繋げることが未来を担う子どもたちを元気に元気にすることにも繋がると思っています。



活動の魅力

『中学生だっぴ』の魅力は、学校生活以外の大人の方と触れ合う場所を作ることによって、中学生が大人になることを前向きに考える機会になったり、大人の方や私たちが中学生から学ぶものがあることです。トーク中に参加者が生き生きとした表情に変わっていくのを感じる時はやっていて良かったと感じられる瞬間です。イベント後に、イベント前よりもお互いの価値観や自分の今後の人生に興味を持ったという変化を見ると、心に届く時間を届けられたとすごく嬉しくなります。

岡山を元気にするために!

活動を通して感じるのは、地域の大人の方と中学生の繋がりを作ることでお互いに岡山を好きになれるきっかけになれば良いなと思っています。中学生も知らない大人の方たちと触れ合うことで“岡山には良い大人の方がたくさんいるんだ”とか“支えてくれる人がいるんだ”ということに気付いたり、逆に大人の方からは“自分が思っていたより中学生ってしっかりしているな”という声もあつたりするので、お互いが色々なことに気付くことができる場を作ることが岡山を元気にしていくことに繋がると思います。

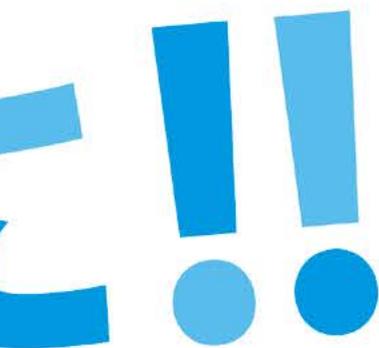
OKAYAMA MOVE UP学生チーム
が岡山県内で活動する学生団体に
スポットをあてて紹介していきます。

活動の魅力

僕たち学生が、子どもたちの繋がりのひとつになれることです。地域で生活している子どもたちと社会との繋がりが希薄化しているなど感じていて、引きこもりや非行をする子どもが増えているということや、地域の公園が減って遊ぶ場所が減ったりしている現状の中で、僕たちが居場所づくりをすることでトワイライトホームが子どもたちの居場所になるだけじゃなくて、信頼関係を築けたり、学生ひとりひとりが子どもたちの居場所になれていると感じることができます。

岡山を元気にするために!

子どもたちが生活しづらいような社会になりつつあるこの環境の中で、『にっこにこ』の活動がより充実したり、増えたりすることで子どもたちの未来が良くなると思うのでそういった活動をすることで岡山が元気になるのではないかなと思います。色々な団体の皆さんと協力しながら活動していくことでより良い岡山を作っていくのではないかなと感じています。



活動の魅力

子どもたちのためにプレゼントを届けるという活動一つにしても、自分たちの想像以上にすごく喜んでくれる時にとてもやりがいを感じます。“この笑顔を見るためにやっているんだな”とか“やってよかったな”と感じられることが一番の魅力ですね。最初は僕たちも、子どもたちをうまく喜ばせられるかすごく不安だったんですけど、みんなプレゼントを届けて帰ってくると顔が全然違って、やっている僕たちもキラキラできる活動です。“誰かのために何かをする”素晴らしさを知れるということがこの活動の一番良いところだと思います。

岡山を元気にするために!

やっぱり僕は、“誰かのために何かをする”というのはすごく大事なことだと思っています。『チャリティーサンタ』の活動を通して“誰かのために何かをする”ことの素晴らしさをたくさんの人に知ってもらって、そんな人がたくさんできれば誰かを思いやる気持ちに繋がり、岡山がもっと良い街になると思いますし、元気になると思います。

僕たちと一緒に
岡山を盛り上げましょう!



**TEAM
2020**
- OKAYAMA MOVE UP -

**OKAYAMA
MOVE UP**

フリーペーパーに出よう!!

インタビューにご協力いただける学生団体、サークル募集中!

《応募方法》

OKAYAMA MOVE UP公式Facebookメッセンジャーまたは、OKAYAMA MOVE UP公式Twitterダイレクトメッセージより下記必要事項を明記の上、お気軽にご応募ください。

《1》代表者名 《2》団体名 《3》電話番号 《4》学校名

※あくまでボランティア活動です。
※個人情報に関しては、活動以外の目的には一切使用いたしません。
※岡山県出身または在学中の大学生、短大生、専門生の方のみとさせていただきます。



公式 **LINE** **NEW!**
OPEN!!



岡山県内の学生団体活動情報や学生が主催するイベント情報を随時配信予定!!
その他にも、OKAYAMA MOVE UPの情報も配信していきます!!

係づくりというのがある
いる子どもたちを『にっこ
することに繋がり、岡山を



川崎医療福祉大学 4回生
丹和音 (愛媛県出身)

『チャリティーサンタ』のメンバーから一言

『チャリティーサンタ』は、みんなが家族のように楽しく仲良く活動しています。その中でも、メンバーみんなが“子どもたちのために”、“子どもたちの笑顔のために”一生懸命活動して、自分たちも笑顔になれることが『チャリティーサンタ』の一番の魅力だと思います。少しでも興味があれば、是非一度ミーティングに来てみませんか?



岡山理科大学 3回生 渡部 光 (鳥根県出身)
岡山大学 4回生 山崎 裕子 (岡山県出身)

OKAYAMA MOVE UP PRESENT'S

MOVE UP MUSIC

powered by



人生が「アがる」一曲を、あなたに。

vol.12

今年の夏もアガっていこう!! Summer Song 2017

アウトドアにマリンスポーツ、バーベキューなどアクティビティに音楽フェスなど
一年で最も盛り上がる季節がもうすぐそこまでやってきています!ドライブにぴったりな爽やかな曲から、
ビーチで聞きたい定番ノリノリの曲、夜のドライブにぴったりな曲までご紹介します。



Album Title

SKY's the limit

Airtist

ぼくのりりっくのぼうよみ

Comment from TSUTAYA

おすすめは「SKY's the limit」。既に全国オンエアがスタートし話題を呼んでいる資生堂'アネッサ'TVCMソング!夏らしい爽快感あふれるぼくりりサウンドになっています。絶賛レンタル中!



Album Title

DNCE

Airtist

DNCE

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Cake By The Ocean」。2015年夏に結成された4人組バンド。この曲が100万ダウンロードを超えるヒットとなり、2016年大ブレイク!!この曲が収録されたアルバムはレンタル中です!



Album Title

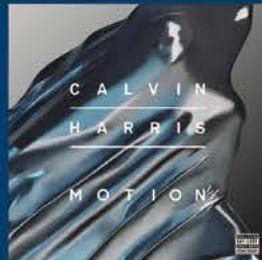
Get Your Heart on!

Airtist

Simple Plan

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Summer Paradise ft. Sean Paul」。こちらも夏、洋楽といえばこの曲を一番に推しますというほどの名曲。レゲエ界からSEAN PAULを招いてかなりリゾート感満載の曲!



Album Title

Motion

Airtist

Calvin Harris

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Summer」。2014年リリースの曲ですが、もう夏の定番曲!!と言っても過言ではないかなと。夏のEDMアンセムといえばこれ!今夏はサマソニヘッドライナーとして出演予定、注目です!



Album Title

藍色ミュージック

Airtist

indigo la End

Comment from TSUTAYA

おすすめは「夏夜のマジック」。夜にぴったりな心地よいスローテンポ、メロディもくせになり、頭のなかでリピートします。特に夏の夜になると聴きたくなる1曲。間違いなく名曲です。



Album Title

ジオラメインサイダー

Airtist

サイダーガール

Comment from TSUTAYA

おすすめは「オーバードライブ」。ついについに2017年7月26日「エバークリーン」というシングルでメジャーデビュー!!炭酸系ロックという言葉がしっくりくる疾走感あふれる注目バンドです!



Album Title

Let Me Love You

Airtist

DJ Snake

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Let Me Love You」。DJ SnakeはEDM界を代表する人気アーティスト兼プロデューサー。こちらの曲はジャスティンビーバーとのコラボ曲。EDMながらもムーディーで夏の夜のドライブにオススメ。



Album Title

Beauty Behind The Madness

Airtist

The Weeknd

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Can't Feel My Face」。ヒットメーカーとなりつつある注目のアーティスト。セクシーな歌声がたまらない、夏の夜のドライブデートには必須の1曲です。



Album Title

ALL ABOUT POP

Airtist

Shiggy Jr.

Comment from TSUTAYA

おすすめは「サマータイムラブ」。2012年結成、今後活躍が期待されるポップでキュートなバンド。80~90年代風の映像にポップなサウンドがマッチしているPVも要チェックです!



Album Title

Who We Are

Airtist

Nulbarich

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Follow Me」。TVCMにも起用されたことで話題になった曲。今夏、様々なフェスに出演することが決定しており、ますます目が離せないアーティスト!アルバムは5/24発売、6/10レンタル開始です。

昨年10月から始まった、EXILE THE SECONDのツアー『EXILE THE SECOND LIVE TOUR 2016-2017 “WILD WILD WARRIORS”』が、5月14日に幕張メッセで無事にFINALを迎えることができました!! 全国のアリーナでパフォーマンスさせていただき、会場にお越しいただいた皆様と、ライブビューイングに足を運んでいただいた皆様を合わせると、なんと45万人の方々に僕たちの想いを伝えることができました。最初は2月までのツアーの予定でしたが、5月までの超ロングラン公演にすることができたのも、全国のファンの皆様の応援のおかげだと心から感じております。二代目 J Soul Brothers から EXILE になり、成長して成熟した僕たちだからこそお届けできる、今の等身大のパフォーマンスを皆さんに喜んでいただけたのは本当に感動的であれしかったです。

最後の幕張メッセでのFINAL公演3日間には、アルバムでコラボレーションさせていただいた、ラッパーのAKLOくんや、LL BROTHERSさん、L.A.からFAR EAST MOVEMENTの方々、そしてDANCE EARTH PARTY、DJ MAKIDAIさん、EXILE TAKAHIROくんもサプライズで出演していただき、とても内容の濃いステージを作ることができました。

EXILE THE SECONDは全員がEXILEメンバーなのですが、先輩メンバーが来てくれれば一瞬で一緒に踊っていた時の感覚になりますし、TAKAHIROくんの声も加わると、またSECONDとはまったく違うグループになったような気持ちになります。今回は

TAKAHIROくんを加えてEXILE第一章の楽曲「Together」をパフォーマンスしたのですが、自分はこの曲をアリーナ規模の広い会場で踊るのが初めてでしたし、この曲の振り付けは先輩メンバーによるものです。自分がEXILEメンバーになる前、ファンだった頃に憧れていたこの振り付けを今回踊らせていただいて、当時のEXILEが世界で初めてアーティストとして、ストリートダンスというものを、この規模の広い会場でファンの皆さんにどうすれば、分かりやすく、伝わりやすく表現できるのかを模索して作ったのかというEXILEのDANCEの歴史みたいなものを感じながら踊っている自分がありました。本番でそんなことを感じながらDANCEしたのは初めてで(笑)、なんだかDANCEが自分に踊り方を教えてくれたみたいで、とても不思議な感覚になりました。

かなり個人的で、なかなか伝わりづらい文章になってしまいましたが(笑)、自分たちにとって、とても意味があって、未来につながるツアーになったと、終わった今、改めて初心に返ることができました。何より時間とお金を割いて会場や映画館に足を運んでくれたファンの皆さんの地鳴りのような声援が僕らのこれからのパワーになりました。

そして最終日に発表されましたが、EXILE THE SECONDは2017年の秋から、また新たなツアーを開催することが決定しました! 今回のツアーを超える次なるENTERTAINMENTの創造はきっと容易ではないと思いますが、これからメンバー1人1人がたくさんのことをインプットして、持てる力

の限界に挑戦していきたいと思いますので、どうか皆さん楽しみに待っていただけたらうれしいです。

来月には新曲「Summer Lover」もリリースされ一気に夏モードになっていきますが、DANCE EARTH PARTYも6月9日に新曲「WAVE」が配信リリースされます!! この曲も、夏!海!な最高に気持ちのいい曲に仕上がりました。実はこの曲、2年くらい前から製作していて、なかなかお披露目できなかったのですが、今回最高のタイミングでリリースできることになりました。また新たにDANCE EARTH PARTYらしい自然や地球やHAPPY↑↑↑を存分に感じる曲が仲間入りして、6月10日の石垣島でのフェス、「Tropical Lovers Beach Festa 2017 in FUSAKI Resort Village」に出演するのが本当に楽しみです。

最近皆さんに「忙しすぎて大丈夫ですか?」なんて心配のお言葉をいただくことが多々ありますが(笑)、やるべきことがたくさんあるって本当に幸せなんです。自分の大好きなDANCEを思う存分、毎日踊れることに心から感謝しながらすべての活動を全力でやらせていただきたいと思います。ツアーは終わりましたが、これからも皆さんの日々の生活の活力になれるように信念を持って頑張りますし、なによりLDH ENTERTAINMENTで皆さんが楽しんでくれたらうれしいです。

(TOKYO HEADLINE vol.691 2017.5.27 発行号より)



19歳よりダンスを始め、EXILE PROFESSIONAL GYMにてインストラクターを務める。2007年に、二代目 J Soul Brothers のメンバーに抜擢され、2009年2月25日に、アルバム『J Soul Brothers』でメジャーデビューを果たす。そして、同年3月1日にEXILE新メンバーとして加入し、2011年には、THE SECOND from EXILEとしても活動を始める。また、個人活動として2011年に月刊EXILEにて、自身が所長を務める『EXILEパフォーマンス研究所』の連載を開始する。2013年、眠りのof the year 2013「ベストネムリスト」の受賞を果たす。2014年4月、淑徳大学人文学部表現学科の客員教授に就任する。そして、2015年4月にEXILE USAが活動を行っているDANCE EARTH PARTYの正式メンバーに選ばれる。そのほか、役者としてドラマや舞台に出演するなど、さまざまな活動を展開し、エンターテインメントの可能性を広げている。

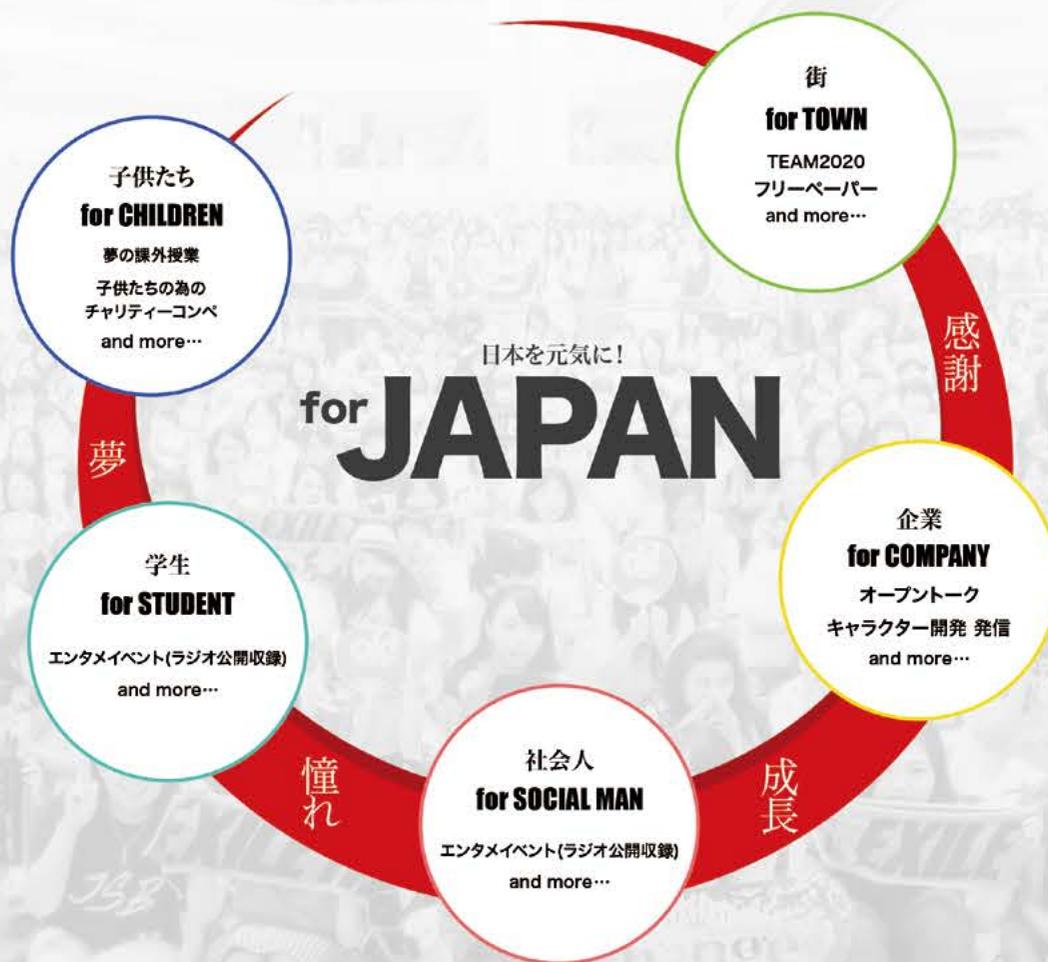
OKAYAMA MOVE UP

岡山から日本を元気に!

『岡山を元気に!』『岡山から日本を元気に!』をコンセプトに、フリーペーパーOKAYAMA MOVE UPの発行をはじめとし、各種イベントを実施するなどエンタテインメントを中心に岡山を盛り上げる活動を行っています。
この活動が意義あるものとして皆様方によりご賛同頂けるよう、「岡山県民が元気になる」「岡山県民が岡山を好きになる」「他府県の方々が岡山の良さを知ってもらう」事を目的としています。

「日本を元気にする為に、まずは岡山が元気になるう!」

その為に何が必要か?子供たちに「夢」を、若者に「憧れ」を、社会人に更なる「成長」を与え続ける...それが企業を街を発展させ、岡山を元気にしていく事だと確信します。
さらに TOKYO MOVE UP との連携による中央とのネットワークを生かしたコンテンツを創造し、若年層への「認知の拡大と巻き込み」を実現します。
また地方創生のモデルのひとつとして「社会的活動」と「エンタテインメント」、「スポーツ」の融合による岡山を元気にするプロジェクト、それが OKAYAMA MOVE UP です。



OKAYAMA MOVE UP実行委員会 加盟企業一覧 (2017年6月11日現在)



株式会社 祥

株式会社 DMM.com

アシード株式会社

special partner



イオンモール岡山

54 JAPAN MOVE UP WEST

OKAYAMA MOVE UP

隔月誌【オカヤマ ムーブアップ】 2017年6月11日発行 vol.26 JUNE

- 発行人／源 眞典(株式会社HEADLINE WEST) 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
- 発行所／株式会社HEADLINE WEST
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング4F TEL:086-250-8089
- 編集・製作／株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6/VILピソソ3 403号

